

# 学校福祉について

焼津市教育委員会 学校教育課

## 1 学校福祉とは ※訂正前

### (1) 背景

学校の教員は、日々の子どもの様子の観察を通じて、家庭環境の問題に比較的気付きやすい立場にあります。しかし、一方で、教員は授業や様々な校務を抱えているため、きめ細かく家庭の様子を確認し、子どもにとって望ましい家庭環境に向けての支援を行うには限界があります。

また、問題を抱える家庭の保護者は、日常的なストレス等により、学校教育に対して無理解であったり、非協力的であったりすることが多く、本来の教育活動に支障が起きているケースも増加しています。

そこで、学校教育課内に学校福祉担当を配置し、スクールソーシャルワーカーなどの専門職やこども相談センターなどの専門機関と緊密に連携したり、民生委員など地域の皆さんとともに家庭訪問したりするなど、家庭・子どもへの支援を行うことにより、学校が本来の教育活動の充実に力を注ぐことができるようにサポートしていきます。



### ※指摘内容

- ・学校と家庭は本来協力関係にあり、同じ方向を向いて進んでいくものなので、言葉が強過ぎないか。

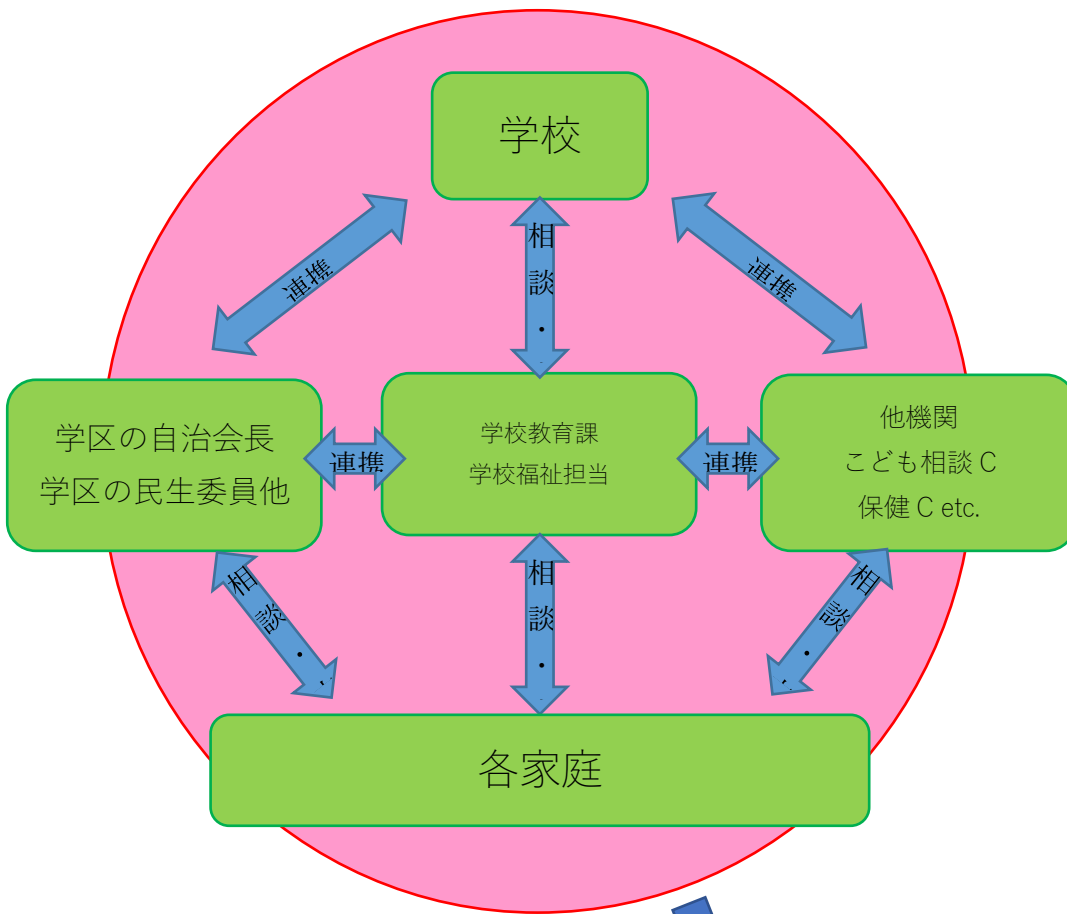
## 1 学校福祉とは ※訂正後

### (1) 背景

学校の教員は、日々の子どもの様子の観察を通じて、家庭環境の問題に比較的気付きやすい立場にあります。しかし、一方で、家庭や子どもの育ちをめぐる問題は、複雑化、多様化し、子どもにとって望ましい家庭環境に向けての支援を行うには、専門的なスキルが求められるようになってきました。

また、問題を抱える家庭の保護者は、日常的にストレス等を抱え、子どもへ上手にかかわれなくなるため、子どもが落ち着いて学校生活を送ることができなかつたり、不登校傾向になったりする状況も見られます。

そこで、学校教育課内に学校福祉支援室を設置し、スクールソーシャルワーカーなどの専門職やこども相談センターなどの専門機関と緊密に連携したり、民生委員など地域の皆さんとともに家庭訪問したりするなど、家庭・子どもへの総合的な支援を行うことができるよう、支援体制の充実に努めていきます。



※指摘内容

- ・平面で表すことの難しさ
- ・学校と家庭が離れず、常につながっているイメージで
- ・支援をされる側を中心に、関与する部分が変わるように

